

9/18(木)

# コロナ接種 年1回

厚労省調整 高齢者ら 来年度から

来年度からの新型コロナウイルスのワクチン接種について、厚生労働省が、65歳以上の高齢者や重症化リスクのある人を対象に、秋から冬に年1回行う方向で調整していることがわかった。これまで金額公費負担だったが、自己負担が生じる可能性がある定期接種への移行を検討している。

今年度末までは、予防接種法で「まん延予防上緊急の必要がある」場合のみに認められる臨時接種で実施されている。関係者によると、来年度以降は、高齢者の季節性インフルエンザなどと同じ定期接種への移行を検討しているという。

今年の秋冬の接種は20日から始まる。生後6ヶ月以上のすべての世代が